Form No. 3407-995 Rev A

コンバージョンキット

Groundsmaster® 7200 シリーズのうち Polar Trac® キャブ搭載車両用

モデル番号131-5525

取り付け要領

取り付け

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載
3407-995 A

必要なパーツを選択する

機械の製造年とキャブのによって、必要となる部品が異なります。以下の表で確認してください。

		JoDale Perry 社製キャブ		Toro 社製キャブ			
	数量	マシンのシリアル番号 315000000 以上	マシンのシリアル番号 314999999 以下	マシンのシリアル番号 315000000 以上	マシンのシリアル番号 314999999 以下	クボタエンジン	ヤンマーエンジン
デカル	1	131-3367	131-3367	131-3367	131-3367		
運転席下のシールド	1	127-6456	127-6456	127-6456	127-6456		
バルブシール	2	130-6113	112-9581	130-6113	112-9581		
ウレタンシール左側	1	130-6110	130-6110	130-6110	130-6110		
ウレタンシール右側	1	130-6111	130-6111	130-6111	130-6111		
T字フィッティング 1/4 x 5/8 x 1-1/4 インチ	1			119-0142	119-0142		
T字フィッティング 1/4 x 3/8 x 1-1/4 インチ	1	93-5052	93-5052				
ストレートフィッティング 3/8 NPT x 5/8 バーブ	3			117-9410	117-9410		
ストレートフィッティング PTC-6 x NPTF-M4	4	108-0342	108-0342				
オスのカップラ (1/4 インチ NPT)	2	108-9899	108-9899				
メスのカップラ (1/4 インチ NPT)	2	108-9898	108-9898				
オスのカップラ (3/8 インチ NPT)	1			125-9680	125-9680		
メスのカップラ (3/8 インチ NPT)	1			125-9679	125-9679		
ホースクランプ 1/2 1-1/4 インチ	4			2412-129	2412-129		
ホースクランプ 3/4 1-1/2 インチ	2	2412-34	2412-34	2412-34	2412-34		
ホースクランプ 1/4 7/16 インチ	4	2412-36	2412-36				
ダストプラグ 5/8 インチ	1			105-7962	105-7962		
ダストキャップ 5/8 インチ	1			105-7963	105-7963		
ダストプラグ 3/8 インチ	1	106-7882	106-7882				
ダストキャップ 3/8 インチ	1	105-7963	105-7963				
ホース内径 3/8 x 34 インチ	0						*
ホース内径 3/8 x 52 インチ	0					*	
ホース内径 3/8 x 22-1/2 インチ	0					*	
ホース 5/8 x 34 インチ	1			131-6090[1]	131-6090[1]		
ホース 5/8 x 52 インチ	1			131-6067[2]	131-6067[2]		
ホース 5/8 x 22-1/2 インチ	1			131-6068[2]	131-6068[2]		
ホースブラケット	1	130-5818	112-1498	130-5818	112-1498[3]		
R クランプ	2	2412-39		2412-39			
R クランプ	1	2412-73		2412-73			
ハトメ 3-1/2 x 1/8 インチ	1	130-6086		130-6086			
ハトメ 1-1/4 x 1/8 インチ	3		240-3		240-3		
ハトメ 1-1/8 x 1/8 インチ	1		240-7		240-7		
デュアル温度センサー	1	112-6347	112-6347	112-6347	112-6347		
ワイヤハーネス	1	110-1667	110-1667	119-4386	119-4386		
ヒューズリンク	1	108-9455	108-9455				
タッピングねじ 5/16 x 5/8 インチ)	2	32144-14	32144-14	32144-14	32144-14		
キャリッジボルト 1/4 x 3/4 インチ	3	1-807512		1-807512			
フランジナット (1/4 インチ)	3	104-7201		104-7201			

スキッドプレート	1					013-1210	
ボルト3/4 x 1-3/8 インチ	2					3234-19	
ボルト3/8 x 1インチ	2					323-6	
フランジナット3/8 インチ	4					104-8301	
アダプタフィッティング	1						133-4731

*現地で調達のこと、[1]クボタエンジンのみ、[2]ヤンマーエンジンのみ、[3]改造が必要

デカルを貼り付ける

1. デカルが完全に貼りつくようにカバープレートを十分にきれいにする 図 1。

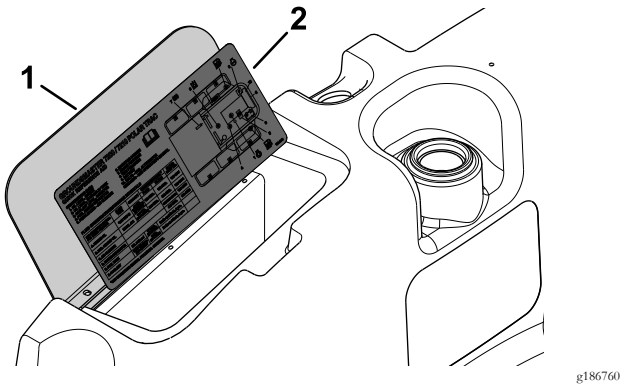


図 1

1. カバープレート
2. デカル

2. デカルの裏紙をはがして、カバープレートにデカルを張り付ける 図 1。

防熱シールド、バルブシール、ウレタンシールを取り付ける

防熱シールドを取り付ける

1. 座席のラッチを外して座席を前に倒す。
2. 運転デッキの底部についているワイヤハーネスからシートスイッチを外す 図 2。

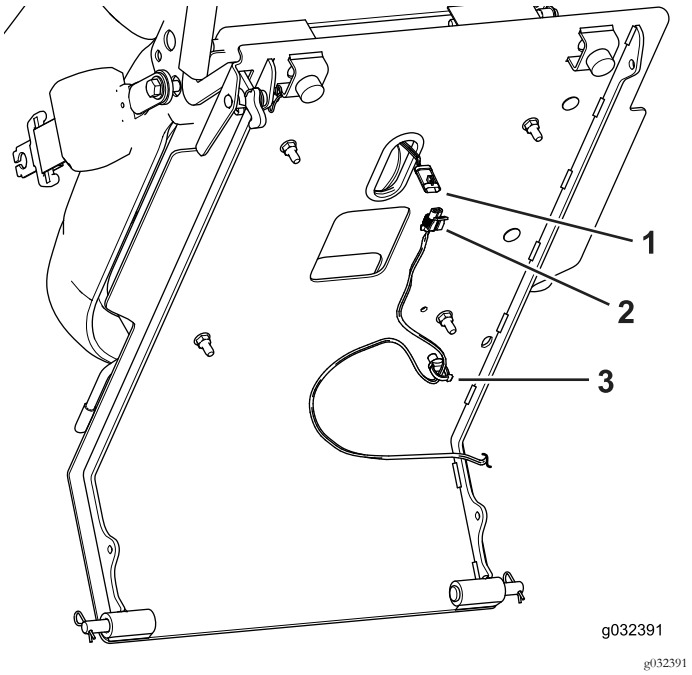


図 2

1. 運転席用コネクタ
2. ワイヤハーネス
3. ワイヤクリップ

3. 運転デッキの底部についているワイヤクリップを外す 図 2。
4. 運転デッキ裏側の、防熱シールドを貼り付ける部分をきれいにする。

5. 防熱シールドの裏紙をはがして、運転デッキの裏面にシールドを張り付ける 図 3。

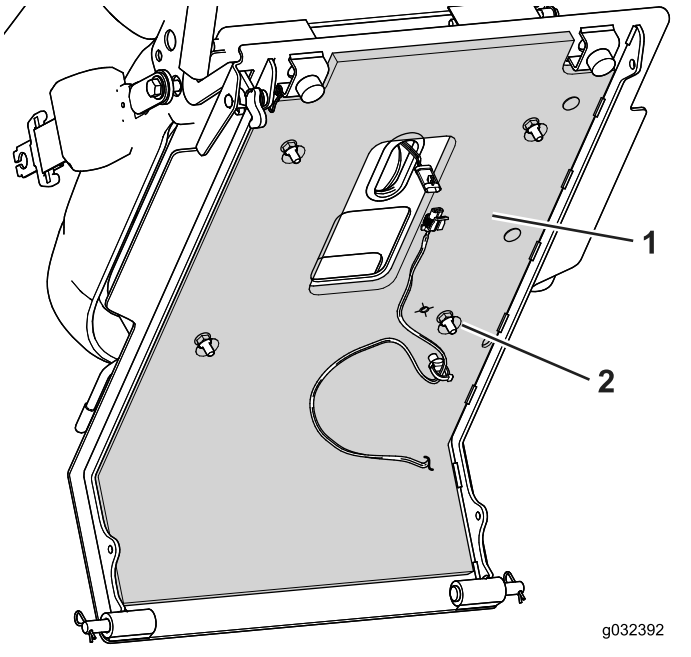


図 3

1. 防熱シールド
2. 切込み

注 シールドについているボルト用の穴をプレートの穴に合わせて貼り付けてください。

6. 運転デッキの底部にワイヤクリップを取り付ける 図 4。

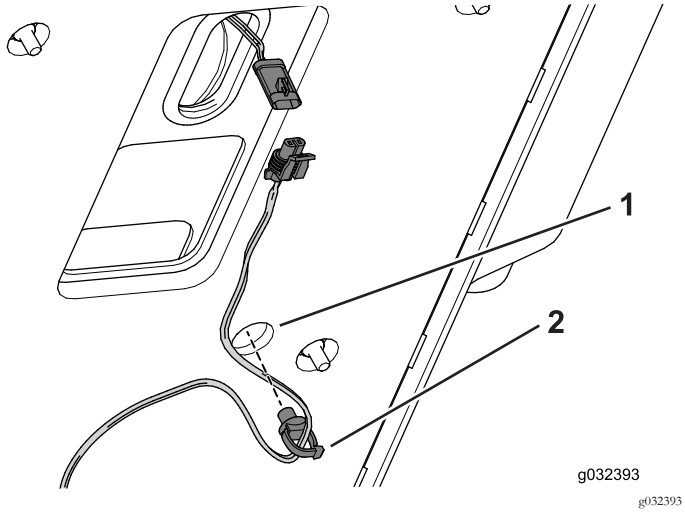


図 4

1. ワイヤクリップ用の穴
2. ワイヤクリップ

7. ワイヤハーネスにシートスイッチを接続する 図 4。

バルブシールを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000001 以上

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

後パネルにバルブシールを取り付ける 図 5。

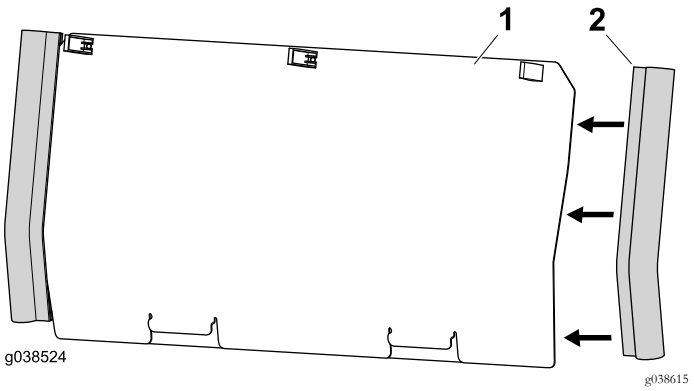


図 5

1. 後パネル
2. バルブシール

バルブシールを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000000 以下

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

後パネルにバルブシールを取り付ける 図 6。

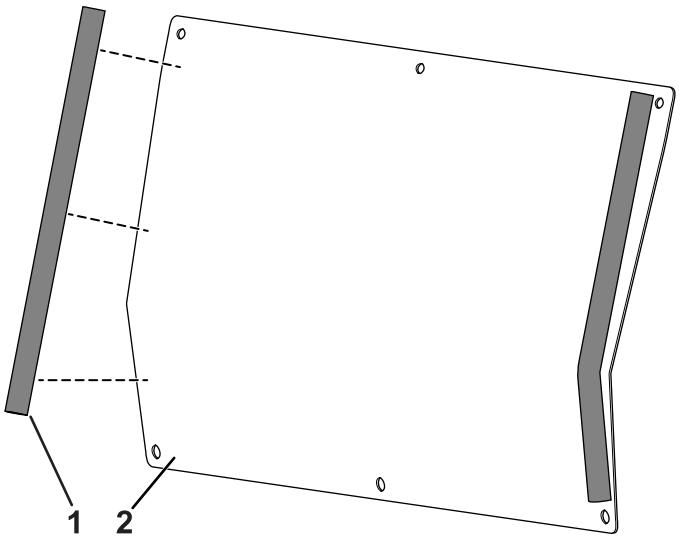


図 6

1. バルブシール
2. 後パネル

エンジンリアパネルシールドを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000001 以上

1. 運転席を一番前の位置に移動させて後部パネルへのアクセスを確保する。
2. スエルラッチ3 個を外してリアパネルを外す 図 7。

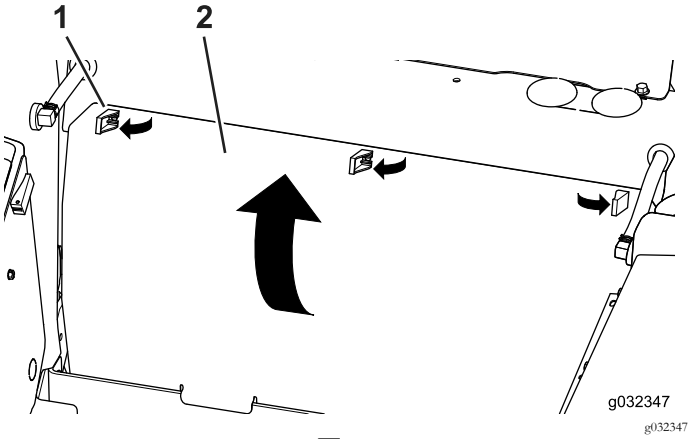


図 7

1. スエルラッチ
2. バックパネル

3. プレートの裏側のシールドを貼り付ける部分をきれいにする。
4. 防熱シールドの裏紙をはがしてリアパネルのエンジン側の面に貼り付ける 図 8。

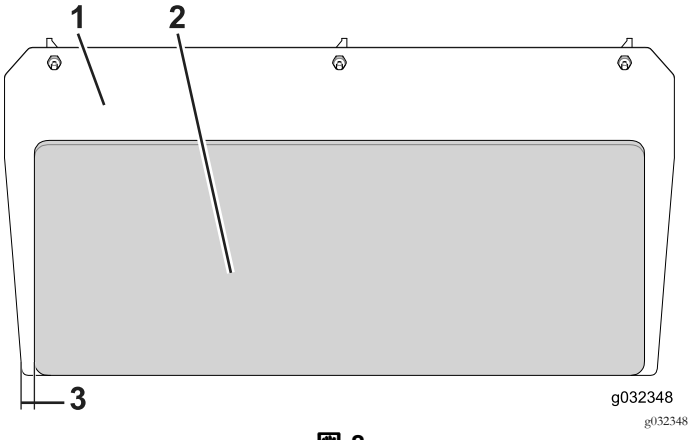


図 8

1. 後パネル
2. リアパネルシールド
3. 29mm

注 リアパネルシールドは、プレートの幅方向の中央に張り付け、左右にそれぞれ 29mm の余白を残してください 図 8。

エンジンリアパネルシールドを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000000 以下

1. 運転席を一番前の位置に移動させて後部パネルへのアクセスを確保する。
2. 後パネルを機体に固定しているボルト6本を外す。
3. プレートの裏側のシールドを貼り付ける部分をきれいにする。
4. 後パネルシールドの裏紙をはがして後パネルのエンジン側の面の中央に貼り付ける 図 9。

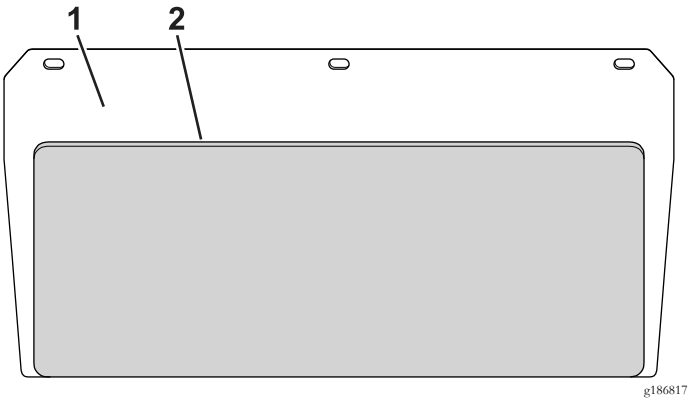


図 9

1. 後パネル
2. 後パネルシールド

ウレタンシールを取り付ける

1. ウレンタンシールを貼り付けるフレーム表面部分をきれいにする。
2. シールの裏紙をはがして、シールをフレームに張り付ける 図 10。

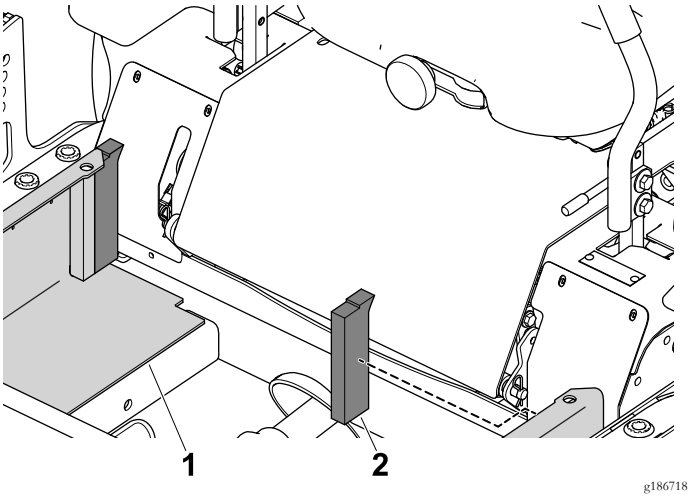


図 10

3. 車体の反対側でも上記と同じ作業を行う。

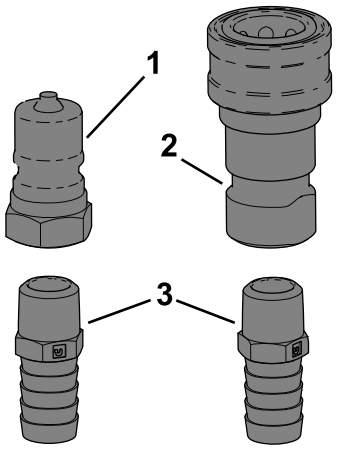
ヒーターホースを取り付ける

給液ホースフィッティングを組み立てる

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

注 各カップラについて以下の手順を行う。

1. ストレートフィッティングにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。
2. ストレートフィッティングをカップラに取り付ける図 11。



g186648

図 11

1. カップラオス
2. カップラメス
3. ストレートフィッティング

3. ストレートフィッティングをオスのカップラに指締め状態にし、そこから2~3回転締め付ける。

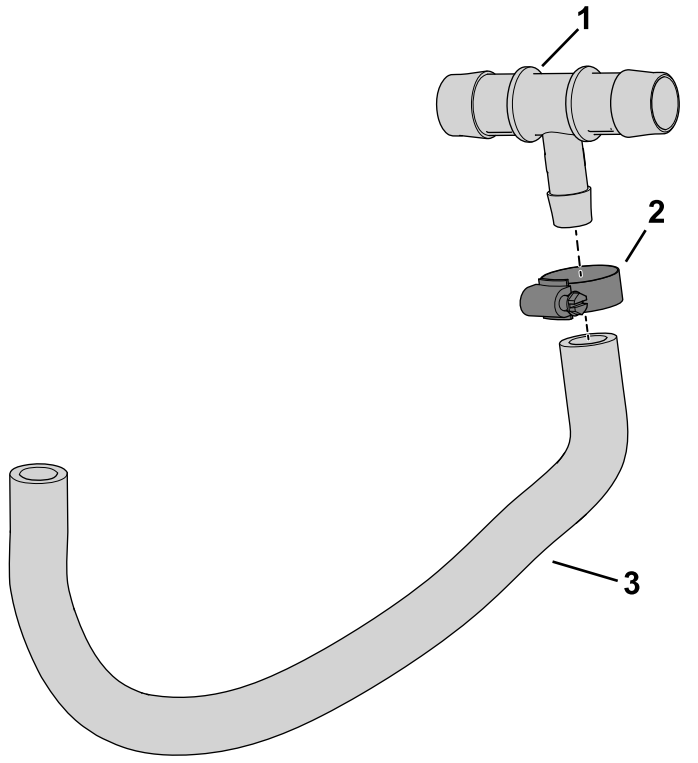
戻りホースを組み立てる

JoDale Perry 社製キャブのみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

注 ヒーター用のホース内径 3/8 インチを現地で調達してください。必要なホースの長さは、ヤンマーエンジン搭載のマシンでは 86cm、クボタエンジン搭載のマシンでは 137cm です。

1. ホースのにホースクランプを嵌める図 12。



g186625

図 12

1. 字フィッティング
2. ホースクランプ
3. 戻り側ホース

2. 図 12のように、T字フィッティングのバーブ側をホースに接続してクランプで固定する。

ホースブラケットとヒーターホースを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000000 以下

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. 後フレームマウントの左面にある2つの取り付け穴を見つける 図 13。

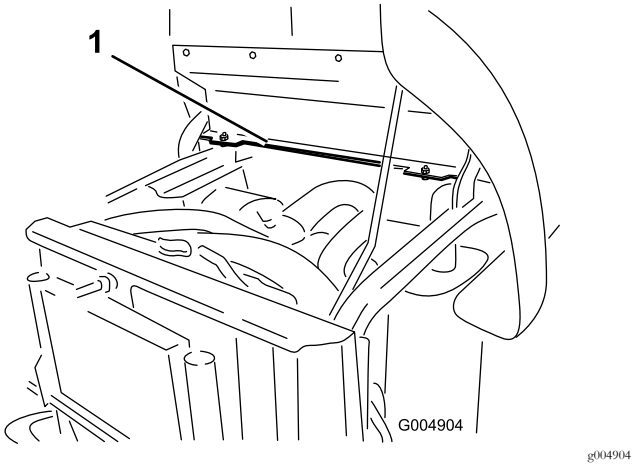


図 13

1. 後フレームマウント

2. タップねじ5/16 x 1/2 インチ2本で、ホースブラケットをフレームマウントに固定する図 14。

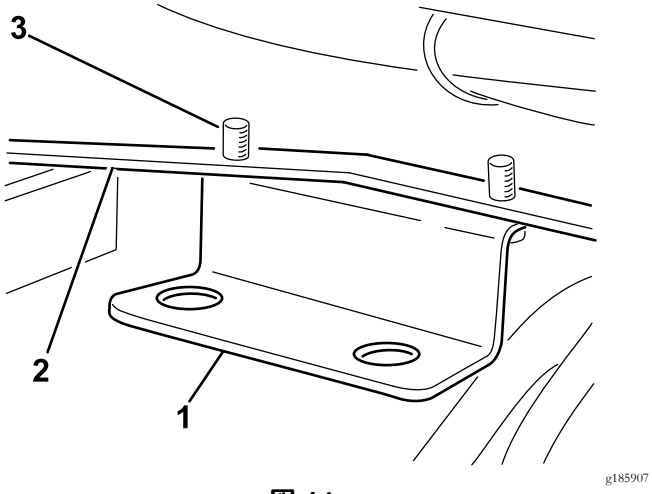


図 14

1. ホースブラケット
2. フレームマウント
3. タッピングねじ1/4 x 1/2 インチ

3. メスのカップラアセンブリのバーブ側端部にダストプラグを取り付けて、ホースブラケットの左側の穴に入れる図 15。

注 トロ製のキャブ用のフィッティングの場合はブラケットを改造する必要があります。

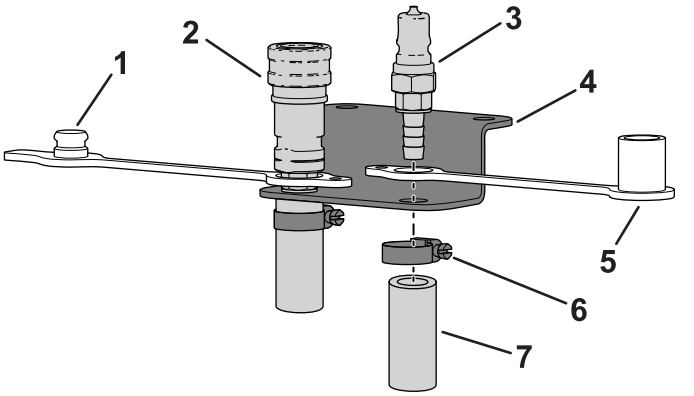


図 15

1. ダストプラグ
2. メスのカップラアセンブリ給液ホース
3. オスのカップラアセンブリ戻りホース
4. ホースマウント
5. ダストキャップ
6. ホースクランプ
7. ヒーターホース

4. オスのカップラアセンブリのバーブ側端部にダストキャップを取り付けて、ホースブラケットの右側の穴に入れる図 15。
5. 各ホースにホースクランプを嵌める図 15。
6. メスのカップラアセンブリのバーブ側端部に給液ホースを接続して、ホースクランプでホースマウントに固定する図 15。
7. オスのカップラアセンブリのバーブ側端部に戻りホースを接続して、ホースクランプでホースマウントに固定する図 15。

ヒーターホースを組み立てる

給液ホースを組み立てる

Toro 社製キャブのみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

注 ヤンマーエンジン搭載のマシンでは 5/8 x 34 インチ のホースを使用、クボタエンジン搭載のマシンでは 5/8 x 22.5 インチのホースを使用します。

1. ストレートフィッティングにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。

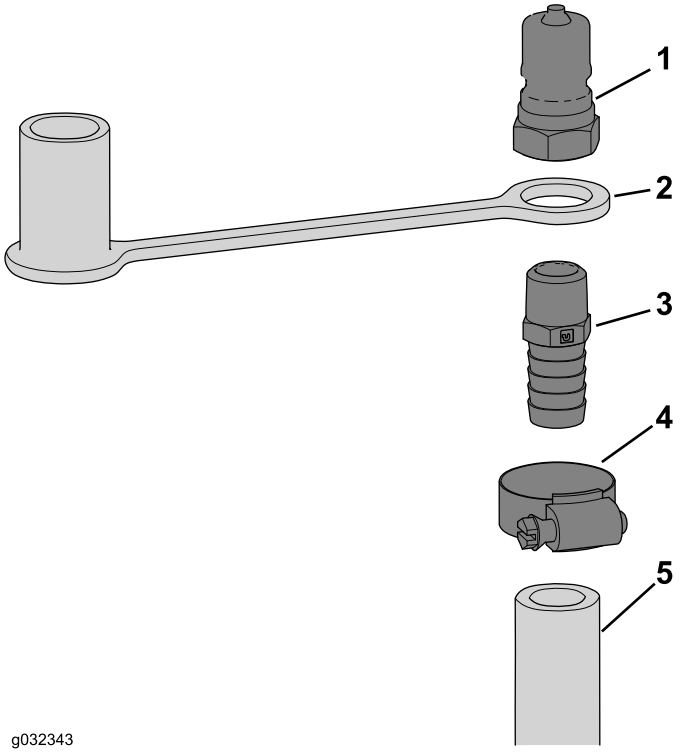


図 16

1. カップラオス
2. ダストキャップ
3. ストレートフィッティング
4. ホースクランプ
5. 給液ホース

2. 図 16のように、ストレートフィッティングのねじ山端部にダストキャップを取り付ける。
3. ストレートフィッティングをオスのカップラに取り付ける図 16。
4. ストレートフィッティングをオスのカップラに指締め状態にし、そこから2~3回転締め付ける。
5. ホースにホースクランプを嵌める図 16。
6. 図 16のように、ストレートフィッティングのバーブ側をホースに接続してクランプで固定する。

戻りホースを組み立てる

Toro 社製キャブのみ

注 ここで使用する部品を、 必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

注 ヤンマーエンジン搭載のマシンでは 5/8 x 34 インチ のホースを使用、クボタエンジン搭載のマシンでは 5/8 x 54 インチのホースを使用します。

1. ストレートフィッティングのねじ山にシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。

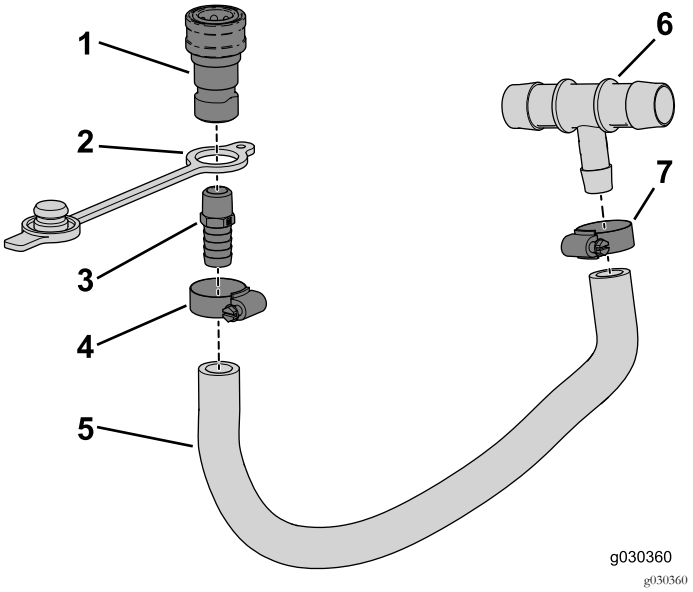


図 17

1. メスのカップラ
2. メスのダストプラグ
3. ストレートフィッティング
4. ホースクランプ
5. 戻り側ホース
6. 字フィッティング
7. ホースクランプ

2. 図 17のように、ストレートフィッティングのねじ山端部にダストプラグを取り付ける。
3. ストレートフィッティングをメスのカップラに取り付ける図 17。
4. ストレートフィッティングをメスのカップラに指締め状態にし、そこから2~3回転締め付ける。
5. ホースにホースクランプ2個を嵌める。
6. 図 17のように、ストレートフィッティングのバーブ側をホースに接続してクランプで固定する。
7. 図 17のように、T字フィッティングのバーブ側をホースに接続してクランプで固定する。

ラジエターホースへ接続する

ヤンマーエンジン搭載機のみ

注 ここで使用する部品を、 必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. ラジエターホースを探し出す図 18。

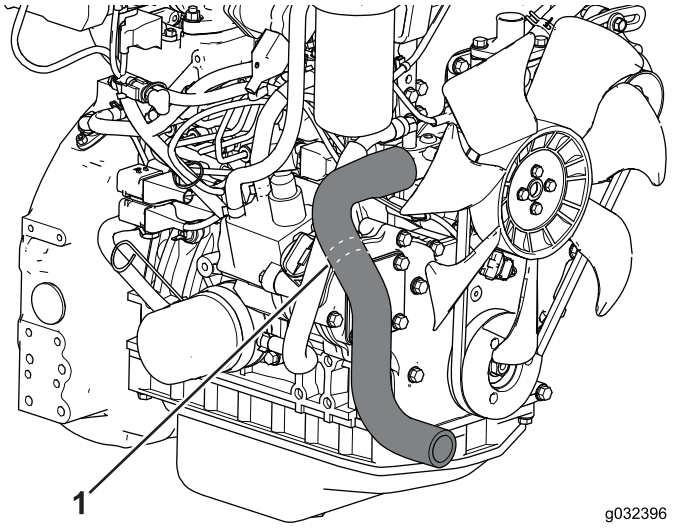


図 18

1. ここを切断

2. 切断線に沿ってラジエターホースを切断する図 18。
3. 図 19のように、切り口をT字フィッティングのバーブ側をホースに接続し、クランプで固定する。

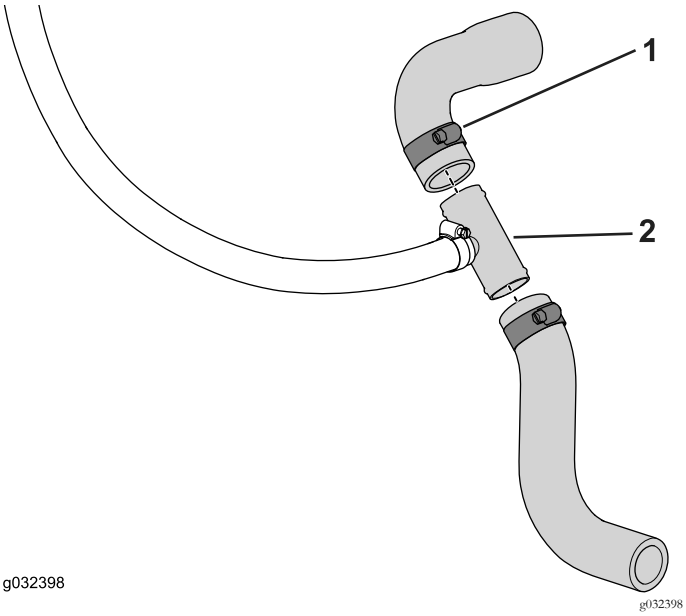


図 19

1. ホースクランプ　　2. 字フィッティング

ラジエターホースへ接続する

クボタエンジン搭載機のみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. ラジエターホースを外す図 20。

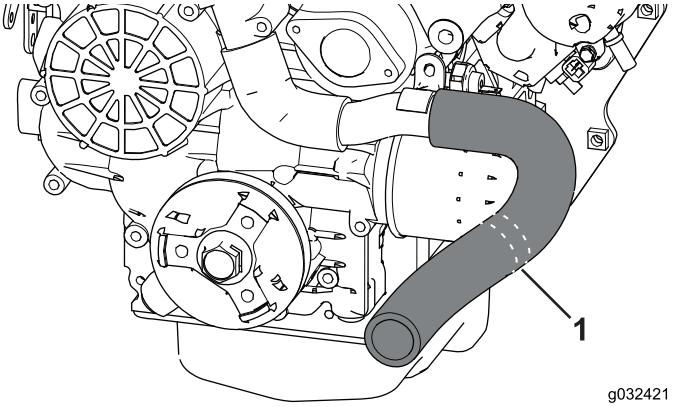


図 20

1. ここを切断

2. 切断線に沿ってラジエターホースを切断する図 20。
3. 図 21のように、切り口をT字フィッティングのバーブ側をホースに接続し、クランプで固定する。

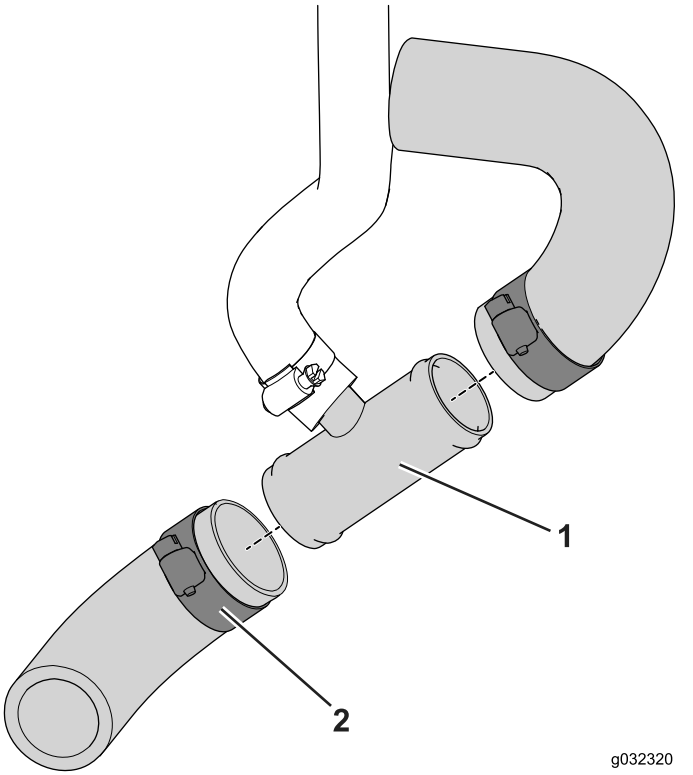


図 21

1. 字フィッティング　　2. ホースクランプ

ホースブラケットを取り付ける

ハトメを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000001 以上

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

注 必要に応じてステップ1と2のみを行ってください。

1. サポートチューブについているキャップを外す図 17。

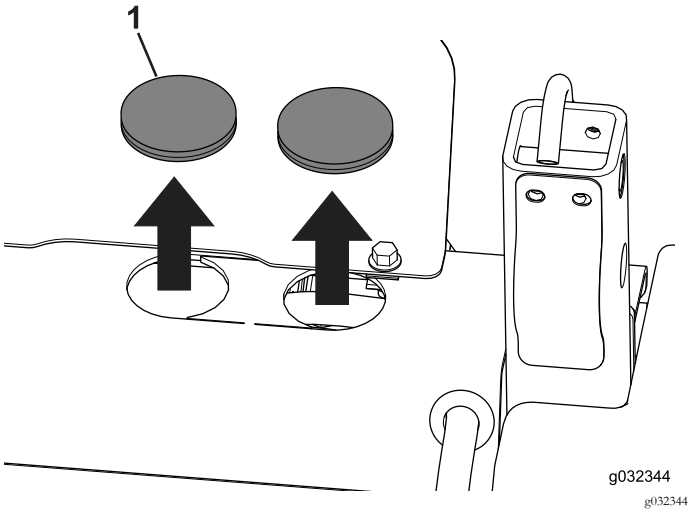


図 22

1. キャップ

2. ふたつの穴の間にパンチ穴がある場合にはそれを打ち抜く図 23。

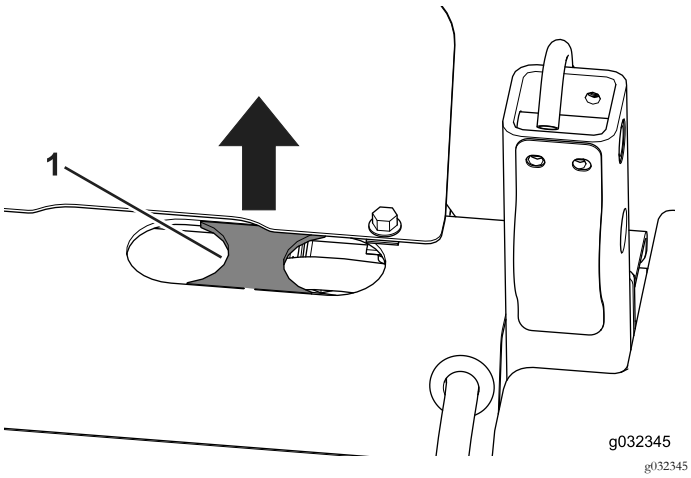


図 23

1. 打ち抜き部

注 必要に応じ、金ノコなどで2つの穴の間の部分上記の打ち抜き部に相当する部分を除去してください。

3. できた開口部にハトメを取り付ける図 24。

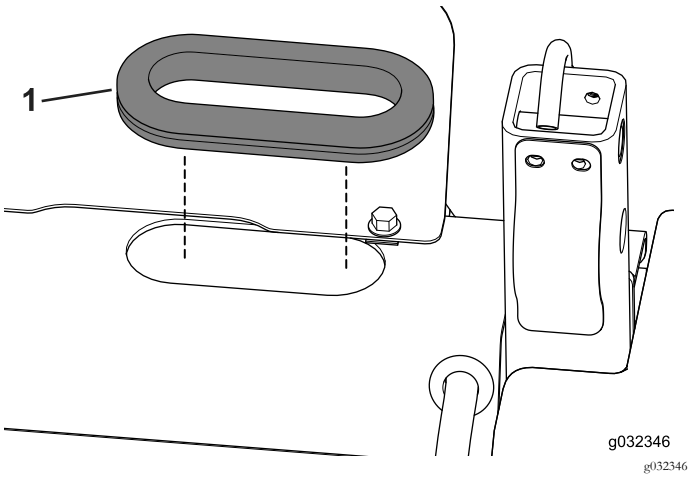


図 24

1. ハトメ

注 必要に応じてハトメの中央部を外して開口を作ってください。

4. ハトメをフレームに取り付ける図 25。

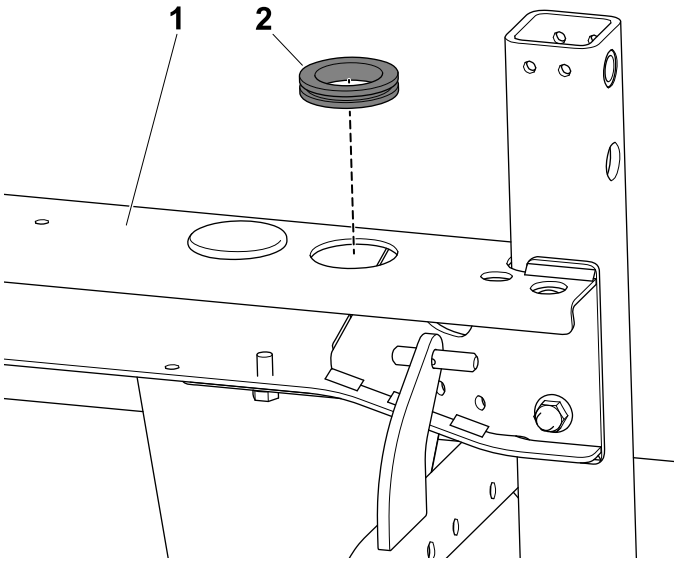


図 25

1. フレーム
2. ハトメ

ハトメを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000000 以下

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

ハトメ3つをフレームに取り付ける図 26。

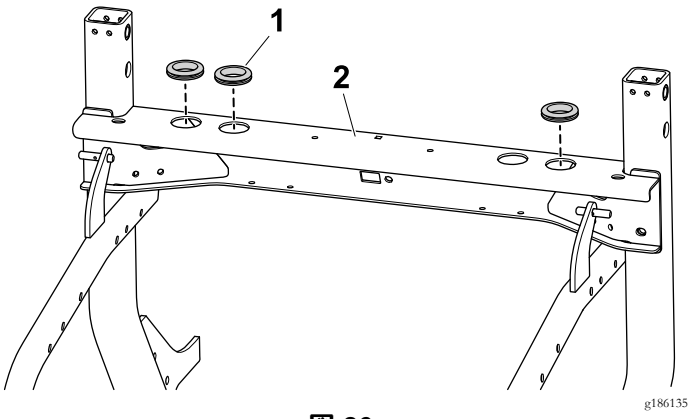


図 26

1. ハトメ
2. フレーム

ホースブラケットとヒーターホースを取り付ける

マシンのシリアル番号 315000001 以上

1. ボルト5/16 x 5/8インチ2本を使って、ホースブラケットをフレームに固定する図 27。

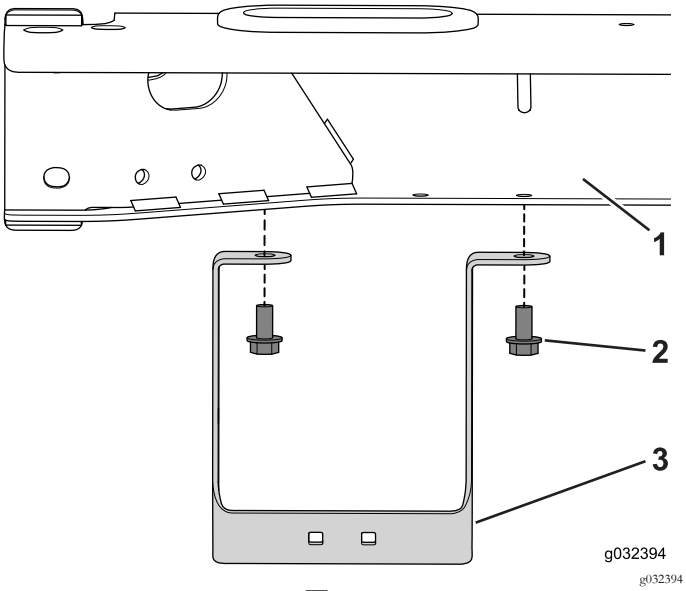


図 27

1. フレーム
2. ボルト5/16 x 5/8 インチ
3. ホースブラケット

2. ボルトを2025N·m3.74.6kg.m = 15~19 ft-lbにトルク締めする。
3. 各ホースに1個ずつRクランプを通す図 28。

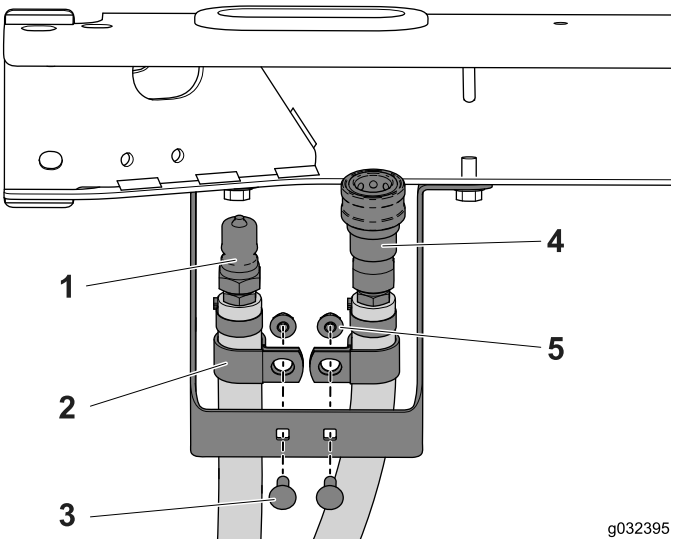


図 28

1. オスのカップラ (給液ホース)
2. R クランプ
3. キャリッジボルト1/4 x 3/4 インチ
4. メスのカップラ (戻りホース)
5. フランジナット (1/4 インチ)

4. キャリッジボルト1/4 x 3/4 インチ2本とフランジナットを使って、Rクランプとホースアセンブリをブラケットマウントに固定する図 28。
5. ボルトを1012N·m3.74.6kg.m = 89ft-lbにトルク締めする。

給液ホースを取り付ける

給液ホースを取り付ける

ヤンマーエンジン搭載機のみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. エンジンポートのプラグを外す図 29。

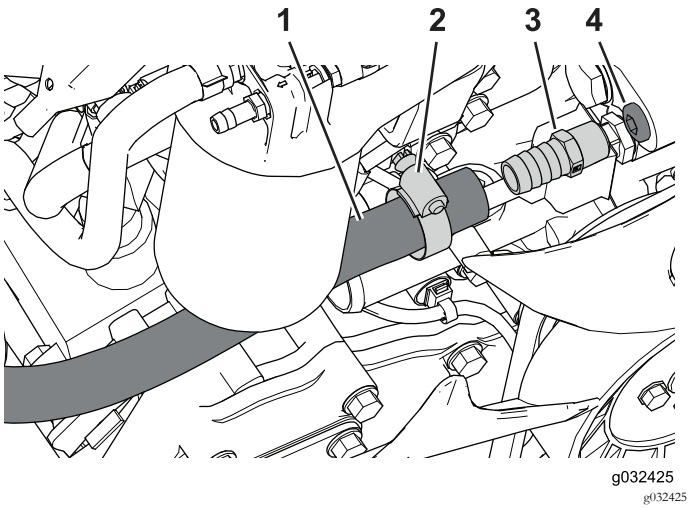


図 29

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ストレートフィッティング
4. エンジンポートプラグ

2. ストレートフィッティングのねじ山にシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと図 29。
3. ストレートフィッティングをポートに指締めする。
4. そこからストレートフィッティングを 23 回転増し締めする。
5. ホースの端部にホースクランプを嵌める図 29。
6. 図 29のように、ストレートフィッティングにホースに接続し、クランプで固定する。

給液ホースを取り付ける

クボタエンジン搭載機のみ

注 ここで使用する部品を、 必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. 温度スイッチの配線を外してスイッチを取り外す図 30。

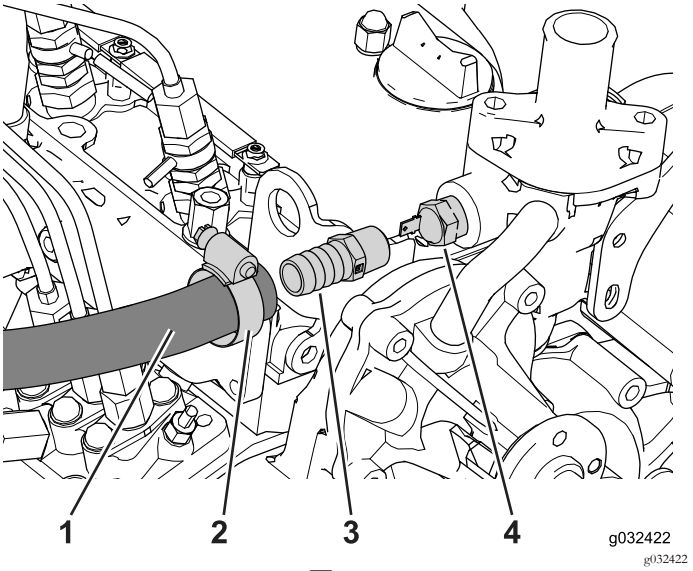


図 30

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ストレートフィッティング
4. 温度スイッチ

2. ストレートフィッティングのねじ山にシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。
3. ストレートフィッティングをポートに指締めする。
4. そこからストレートフィッティングを 23 回転増し締めする。
5. ホースの端部にホースクランプを嵌める図 30。
6. 図 30のように、ストレートフィッティングにホースに接続し、クランプで固定する。

ヒーターホースを配設する

戻りホースを配設する

クボタエンジン搭載機のみ

給液ホースを図 31のように戻りホースを配置する。

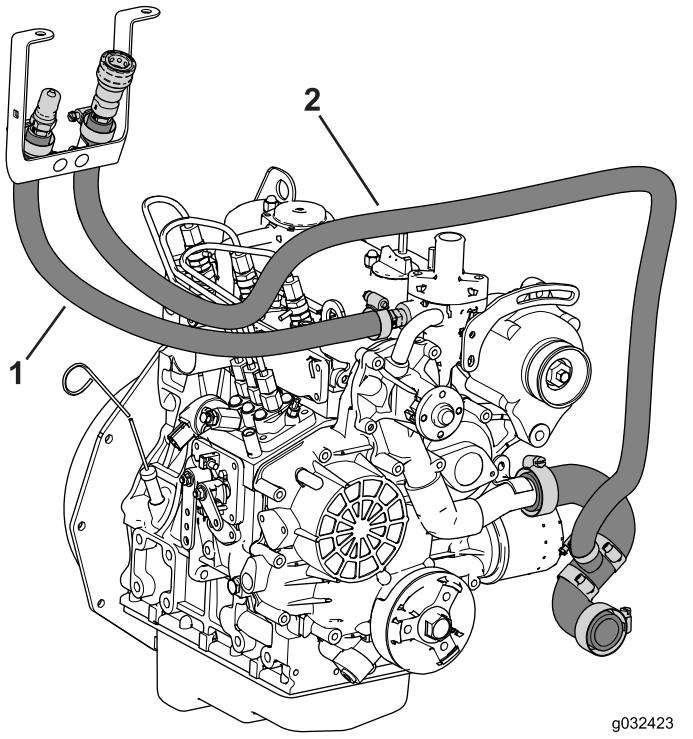


図 31

1. 給液ホース
2. 戻り側ホース

戻りホースを配設する

ヤンマーエンジン搭載機のみ

給液ホースを図 32のように配置する。

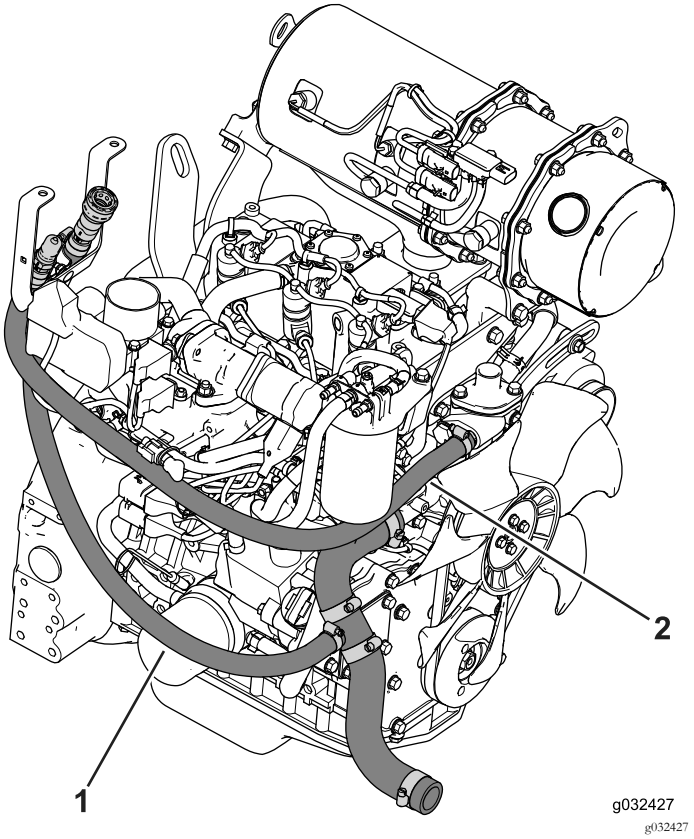


図 32

1. 戻り側ホース
2. 給液ホース

温度スイッチを取り付けるヤンマーエンジンのみ

1. エンジンブロックについているサーモスタットハウジングを探し出し、エンジンポートプラグを外す図 33。

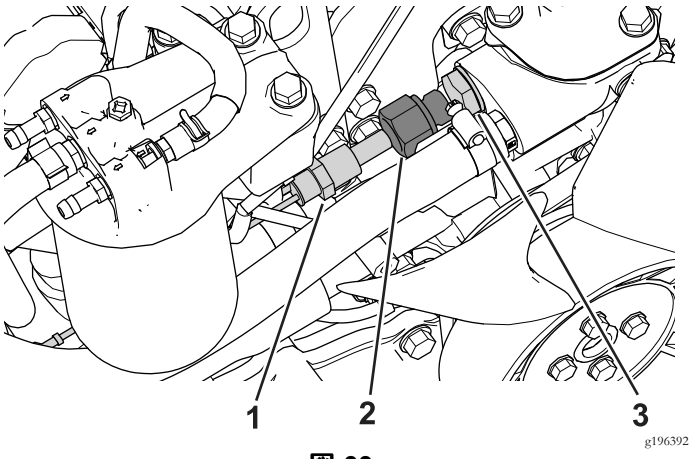


図 33

1. 温度スイッチ
2. アダプタフィッティング
3. エンジンポートプラグ

2. アダプタフィッティングにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。

3. アダプタフィッティングをポートに指締めする。
4. そこから 23 回転増し締めする。
5. 温度スイッチにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。
6. 温度スイッチをポートに指締めする。
7. そこから 23 回転増し締めする。
8. 先ほど外した黄色いコードを、エンジンホットコネクタに接続する。
9. 黄色コードに束ねてある橙オレンジ線を、エンジンウォームコネクタに接続する。
10. ハーネス同士はケーブルタイを使って束ねる。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

温度スイッチを取り付けるクボタエンジンのみ

1. エンジンブロックについているサーモスタットハウジングを探し出し、エンジンポートプラグを外す図 34。

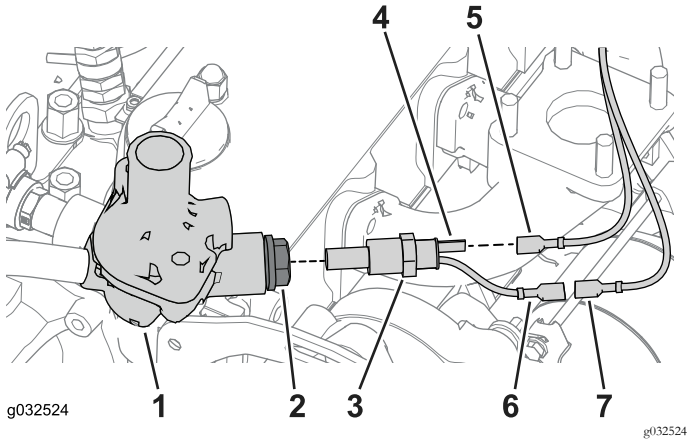


図 34

1. サーモスタットハウジング
2. エンジンポートプラグ
3. 温度スイッチ
4. エンジンホットコネクタ
5. 黄線
6. エンジンウォームコネクタ
7. 橙線

2. 温度スイッチにシーラントを巻き付ける最初のねじ山には巻かないこと。
3. 温度スイッチをポートに指締めする。
4. そこから 23 回転増し締めする。
5. 先ほど外した黄色いコードを、エンジンホットコネクタに接続する図 34。
6. 黄色コードに束ねてある橙オレンジ線を、エンジンウォームコネクタに接続する図 34。
7. ハーネス同士はケーブルタイを使って束ねる。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

スキッドプレートを取り付けるクボタエンジンのみ

ボルト3/8 x 1-1/4 インチ、3/8 x 1 インチとナットを使って、スキッドプレートをフレームに固定する図 35。

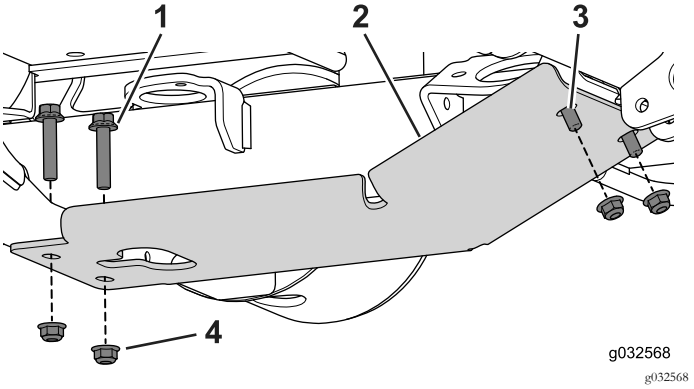


図 35

1. ボルト3/8 x 1-1/4 インチ
2. スキッドプレート
3. ボルト3/8 x 1インチ
4. フランジナット3/8 インチ

ワイヤハーネスを取り付ける

ワイヤハーネスに所要部品を接続する

Toro 社製キャブのみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. ワイヤハーネスに以下の部品を接続する図 36。

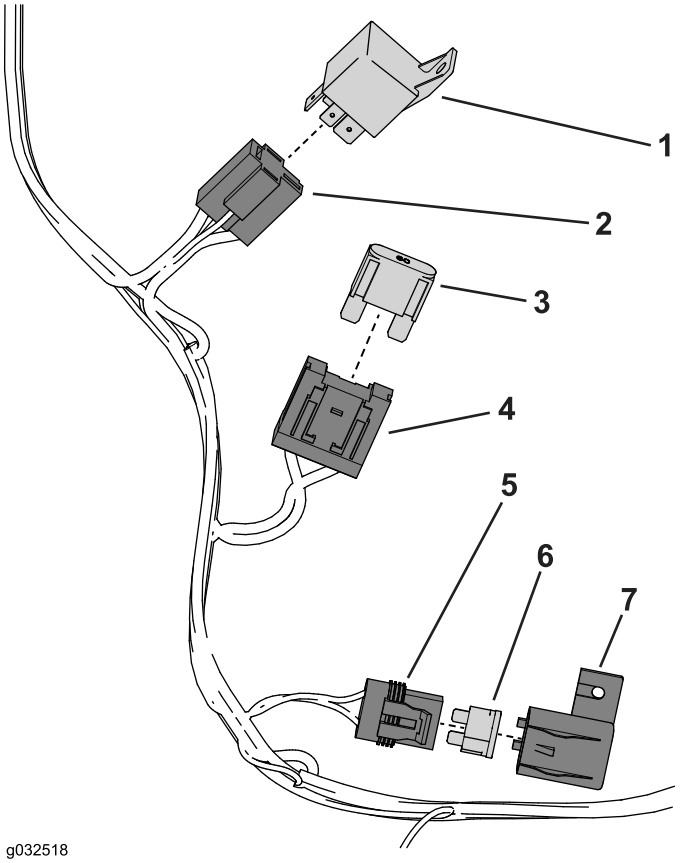


図 36

1. リレー
2. リレー用コネクタ
3. ヒューズ60 A
4. ヒューズホルダー
5. ヒューズアセンブリ
6. ヒューズ10 A
7. ヒューズアセンブリのキャップ

2. リレーコネクタにリレーを取り付ける図 36。
3. ヒューズホルダーにヒューズ60Aを取り付ける図 36。
4. ヒューズアセンブリにヒューズ10Aを取り付けてヒューズアセンブリキャップで固定する図 36。

ワイヤハーネスを配設する

クボタエンジン搭載機のみ

1. キャブ用コネクタ3個をハトメに通す図 37。

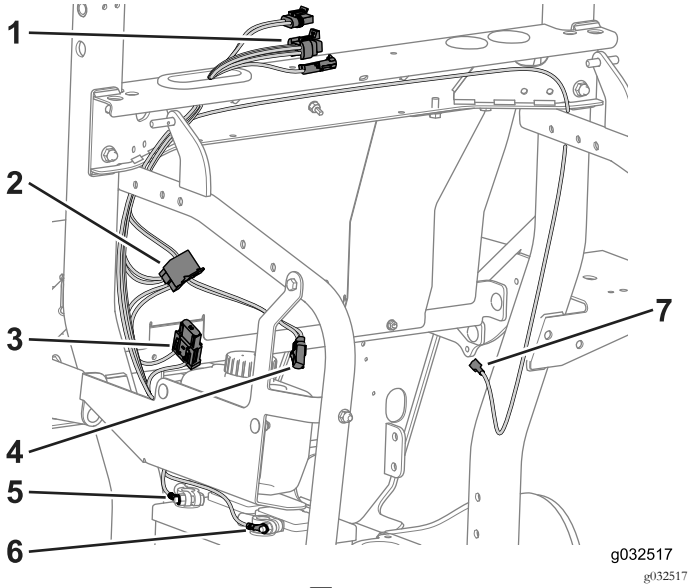


図 37

1. キャブ用コネクタ
2. リレーアセンブリ
3. ヒューズアセンブリ60A
4. ウォッシャー液ボトルのコネクタ
5. プラス側コネクタ赤
6. マイナス側コネクタ黒
7. 補助電源ワイヤ

2. フレームサポートに沿って補助電源ワイヤを配設し、さらにROPSチューブに沿って下へ、オペレータコントロールの方へ導く図 37。
3. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをフレームに固定する。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

ワイヤハーネスを配設する

ヤンマーエンジン搭載機のみ

1. キャブ用コネクタ3個をハトメに通す図 38。

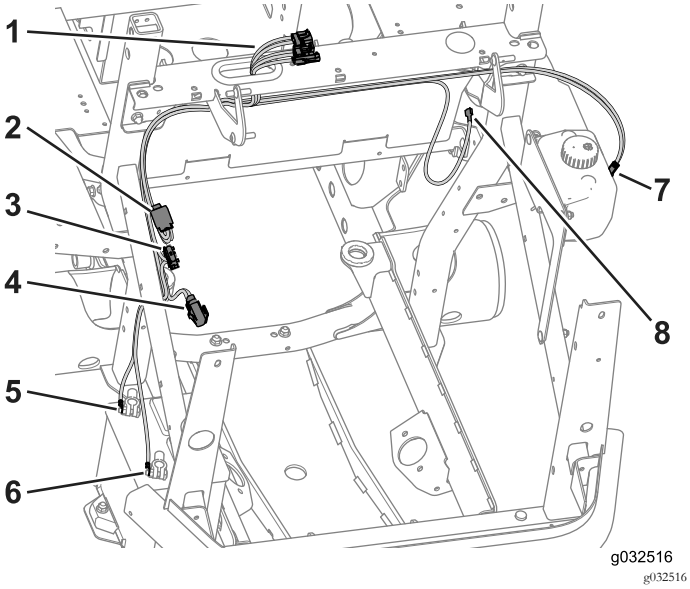


図 38

1. キャブ用コネクタ
2. リレーアセンブリ
3. ヒューズアセンブリ60A
4. ヒューズホルダー
5. プラス側コネクタ赤
6. マイナス側コネクタ黒
7. ウォッシャー液ボトルのコネクタ
8. 補助電源ワイヤ

2. フレームサポートに沿って補助電源ワイヤを配設し、さらにROPSチューブに沿って下へ、オペレータコントロールの方へ導く図 38。
3. フレームサポートに沿ってウォッシャー用ワイヤを配設し、さらにROPSチューブに沿って下へ、ウォッシャー液ボトルへ導く図 38。
4. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをフレームに固定する。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

補助電源ワイヤを接続する

Toro 社製キャブのみ

1. スエルラッチを外してオペレータコントロールパネルを外す図 39。

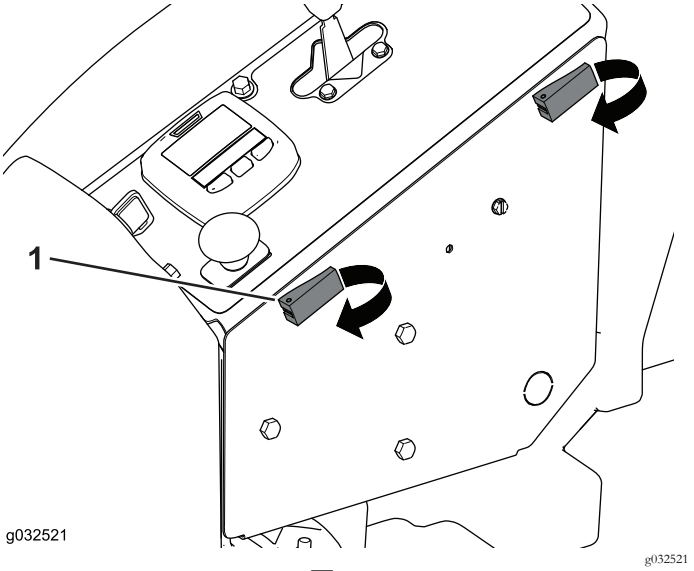


図 39

1. スエルラッチ

2. 補助電源ワイヤをオペレータコントロール部に導く図 40。

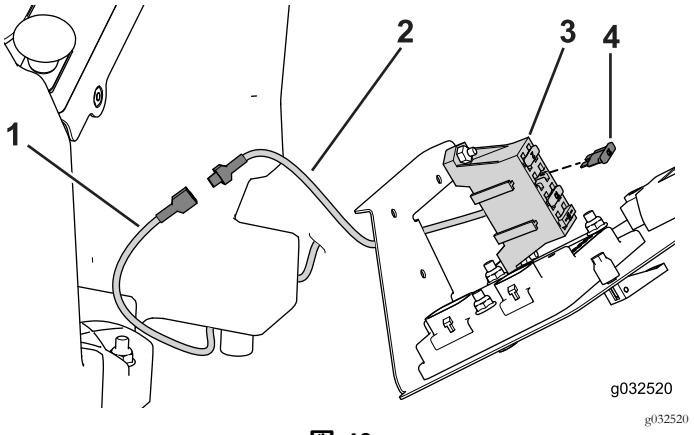


図 40

1. 補助電源ワイヤ
2. ヒューズブロックのワイヤ
3. ヒューズブロック
4. ヒューズ10 A

3. 補助電源ワイヤを、ヒューズブロックの空いているリード線に接続する図 40。

   注 空きがない場合はヒューズブロックを追加してください。
4. 補助電源用のヒューズブロックにヒューズ10Aを取り付ける図 40。
5. ワイヤをケーブルタイで固定する。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

ワイヤハーネスを取り付ける

JoDale Perry 社製キャブのみ

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. ワイヤハーネスを図 41のように配置する。

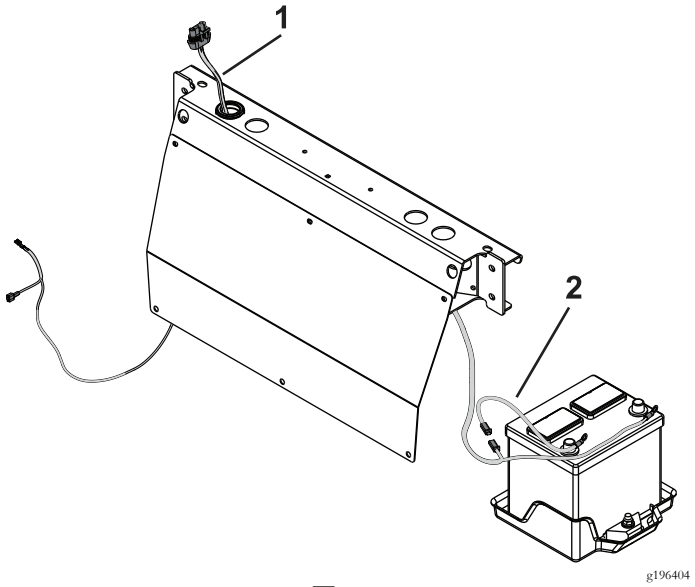


図 41

1. ワイヤハーネス
2. ヒューズリンク

2. ワイヤハーネスにヒューズ付きリンクを接続する図 41。

バッテリーへ接続する

注 ここで使用する部品を、必要なパーツを選択する (ページ 2)で確認してください。

1. バッテリーから、まずマイナス側のクランプをゆるめて外し、次にプラス側のクランプを同様に外す図 42。

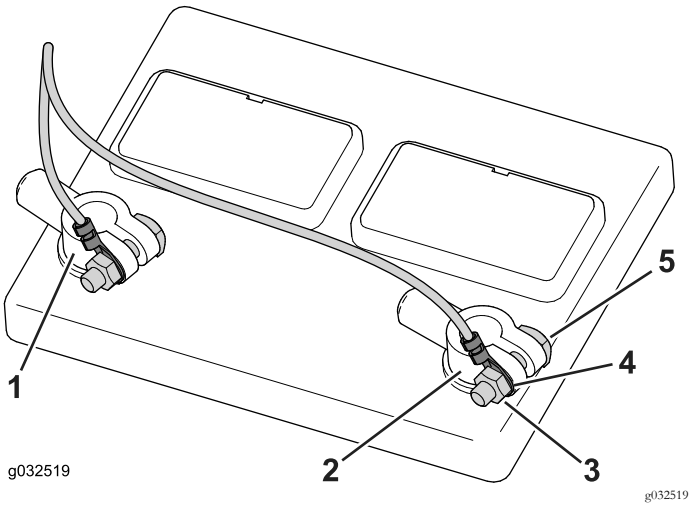


図 42

1. プラス側のクランプ
2. マイナス側のクランプ
3. ナット
4. リング端子
5. ボルト

2. 各クランプからナットとワッシャを外す。
3. マイナスのリングコネクタを、マイナスボルトに取り付け、ナットで仮止めする図 42。
4. プラスのリングコネクタを、プラスボルトに取り付け、ナットで仮止めする図 42。
5. バッテリーのプラス端子にプラスクランプを取り付け、その後にマイナス端子にマイナスクランプを取り付ける図 42。
6. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをフレームに固定する。

   注 可動部や高温部分にはハーネスを固定しないでください。

メモ

メモ



Count on it.